

2007年に松坂大輔投手がレッドソックス入りした際の6年契約5200万ドルを大きく超える、6年契約6000万ドルでダルビッシュ有投手がテキサス・レンジャーズ入りしたニュースが日本中を駆け巡った。実はレンジャーズは交渉権獲得費用を合わせ1億1千万ドル以上の巨費をダルビッシュ投手獲得に投じたのだった。

この時一切を取り仕切ったのが伝説の名投手でありレンジャーズの現球団社長兼オーナーのノーラン・ライアン氏である。彼は1966年から93年まで大リーグで活躍し、今も破られていない通算5714奪三振のメジャー記録や7度のノーヒット・ノーラン達成、1974年には100.9マイル（約162km）と人類初めて"100マイル"の壁を越え、1979年には投手として初めて年棒100万ドルを獲得し、エンジェルス時代の背番号"30"とアストロズ、レンジャーズ時代の背番号"34"はいずれも永久欠番で、3チームでの永久欠番は世界に彼しかいないという驚くべき男である。しかも2010年には既に社長を務めていたレンジャーズを買収しオーナー（最高権力者）にまでなってしまった。どこかのサラリーマン社長とは分けが違う。

その"神様"の様な彼がダルビッシュ投手を「将来が楽しみ」と絶賛し大金をつぎ込んだのである。これを見て私は聖書の言葉を思い出した。

「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」

イザヤ書 43 章 4 節

がそれだ。ライアン氏も子供のころ貧しかったそうだが、神であるキリストもわざわざ人間として生まれて来られ、苦勞を耐え忍ばれ、ついには全財産である自分の命までも「あなたには価値がある」と言って我々人間のために投げ出し、その後人類初となる死者からの「復活」までも成し遂げ、天に昇って"最高経営者"である王となられた。私たちは皆、神という"オーナー"にとってダルビッシュ投手の様に愛される存在なのである。

2012-1-27

